

# 平成30年度予算

## 支出の内訳

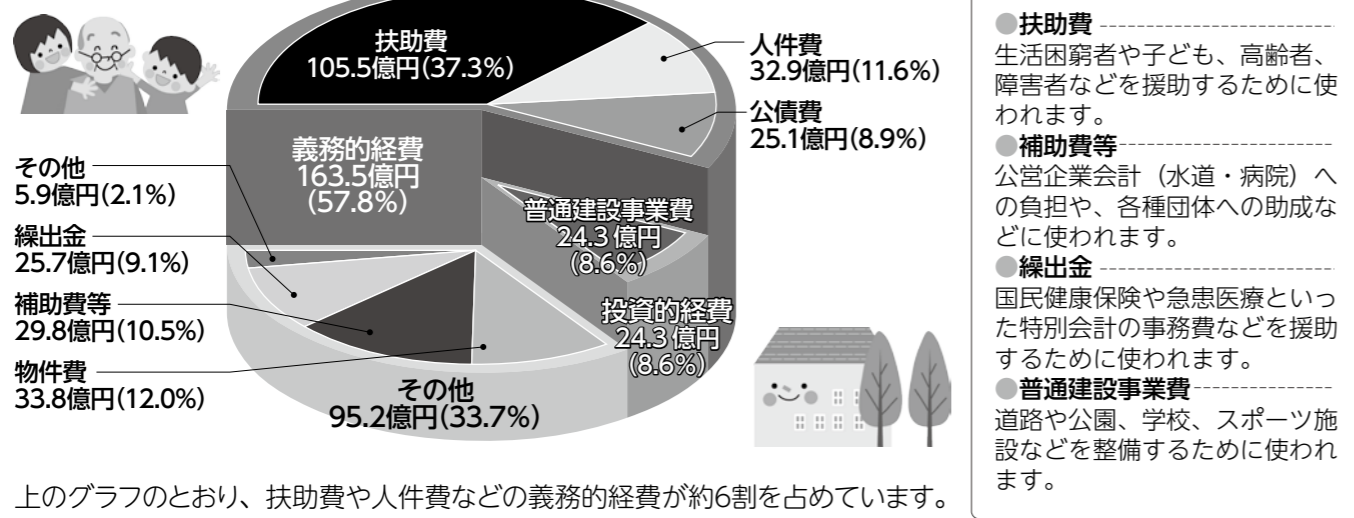
支出(歳出予算)を分析するためには、内容を民生費や土木費などの「目的別」に分ける方法と、人件費や公債費などの「性質別」に分ける方法があります。このように視点を分けると、市の予算がどのようなものに使われ、どのような支出が多いのかが分かります。

### ●目的別の使い道

<b>民生費[142.3億円]</b> 生活保護費や子育て支援、高齢者の医療・福祉の充実などに使われます。	<b>土木費[30.5億円]</b> 道路や公園、市営住宅などの整備や維持管理に使われます。	<b>公債費[25.1億円]</b> 道路や公園、市営住宅などを整備するときに借りたお金の返済に使われます。	<b>衛生費[22.5億円]</b> ごみの収集や処理、し尿処理、医療や健康づくりなどに使われます。
<b>教育費[21.1億円]</b> 小中学校や図書館、公民館やスポーツ施設などの整備・管理などに使われます。	<b>総務費[20.0億円]</b> 庁舎の管理や広報の発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。	<b>消防費[8.0億円]</b> 消防署への負担金や消防団の運営、消防車の整備などに使われます。	<b>農林業費[5.5億円]</b> 農道や農業用水路の整備・管理、農林業の振興・発展のために使われます。
<b>商工費[4.9億円]</b> 商店街や中小企業の支援、企業や観光客の誘致などに使われます。	<b>議会費[2.3億円]</b> 市議会の運営のために使われます。	<b>労働費[0.4億円]</b> 失業者の相談を受けたり、働く場所をつくらしたりするためなどに使われます。	<b>その他[0.3億円]</b> 災害など緊急時に対応するために使われる予備費などです。

生活保護や福祉サービスなどにかかる民生費が予算全体の半分程度を占めています。

### ●性質別の使い道



上のグラフのとおり、扶助費や人件費などの義務的経費が約6割を占めています。これは、自由に使えるお金が少ないということで、新しい市民サービスや公共施設を整備するためには、財源の確保が非常に重要であるといえます。

## 市の予算

市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類に分かれており、それぞれの会計で収支を管理しています。

<b>一般会計</b> 市で一番大きい会計で、福祉・子育て、学校の運営や道路整備などまちづくりに必要なさまざまなお金を経理しています。	<b>特別会計</b> 収入や使い道などをはっきりさせるために、一般会計とは別に経理しています。本市には「国民健康保険」、「急患医療」など全部で5つの特別会計があります。	<b>公営企業会計</b> 一般的な会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を運営している会計です。本市には「水道」と「病院」の2つの公営企業会計があります。
--	--	---

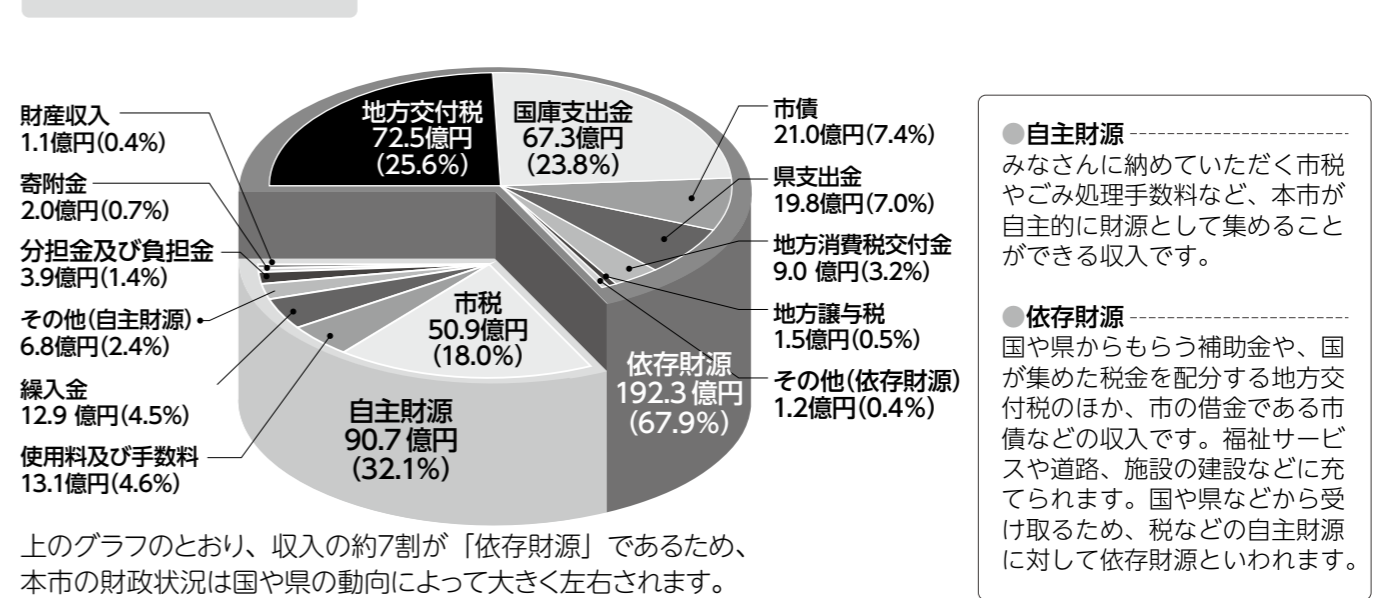
## 一般会計

最初にみなさんに一番身近で、金額が一番大きい一般会計について説明します。

**総額 282億9,631万円** ※3月15日に議決された平成30年度補正予算も含まれます。

## 収入の内訳

市が、さまざまな市民サービスを行うために集める収入(歳入予算)の状況です。この収入は、大きく「自主財源」と「依存財源」の2つに分けることができます。



上のグラフのとおり、収入の約7割が「依存財源」であるため、本市の財政状況は国や県の動向によって大きく左右されます。

## 第5次総合計画 「実施計画事業」

本市のまちづくりの将来像や基本的な考え方を掲げる「田川市第5次総合計画(基本構想、基本計画、実施計画)」。

本市では、より住みやすく、より魅力あるまちを目指して、後期基本計画(計画期間平成28年度〜平成32年度)を策定しています。この計画を達成するために必要な事業を「実施計画事業」として立案し、推進していきます。

### 将来像

ひとを育て自然と産業が共に息づくまち田川

活力あるものづくり

産業都市を目指して

平成30年度の一般会計予算282.9億円のうち、実施計画事業の事業費は73.7億円であり、全体の約26%を占めています。

第5次総合計画における分野ごとの事業費と、新規追加、内容の拡充などを行った主な実施計画事業は次のとおりです。

- 都市づくり(24.2億円)
  - 自然豊かで安全・快適に暮らせる美しいまちづくり
  - 田川伊田駅舎改修事業
  - 立地適正化計画策定・推進事業
  - 公共交通利用促進事業

- ごみ減量化・資源化事業 など
- 産業・経済(4.0億円)
  - 環境にやさしく魅力あふれる産業を育むまちづくり
  - 産業振興事業
  - ふるさと就職支援事業
  - シニアプロモーション事業

- 医療・福祉(30.4億円)
  - 互いに支えあい誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり
  - 健康診査事業
  - 子育て世代包括支援センター運営事業
  - 保育補助者雇用強化事業
  - 放課後児童健全育成事業
  - 地域包括支援センター運営事業
  - 福祉、教育及び保健の連携推進事業
  - 防災体制充実事業
  - 防犯事業

- 教育・文化(12.2億円)
  - 郷土を愛し豊かな心と創造力を育むまちづくり
  - 就学援助事業
  - 学校適正規模推進事業
  - 小学校施設長寿命化改修事業

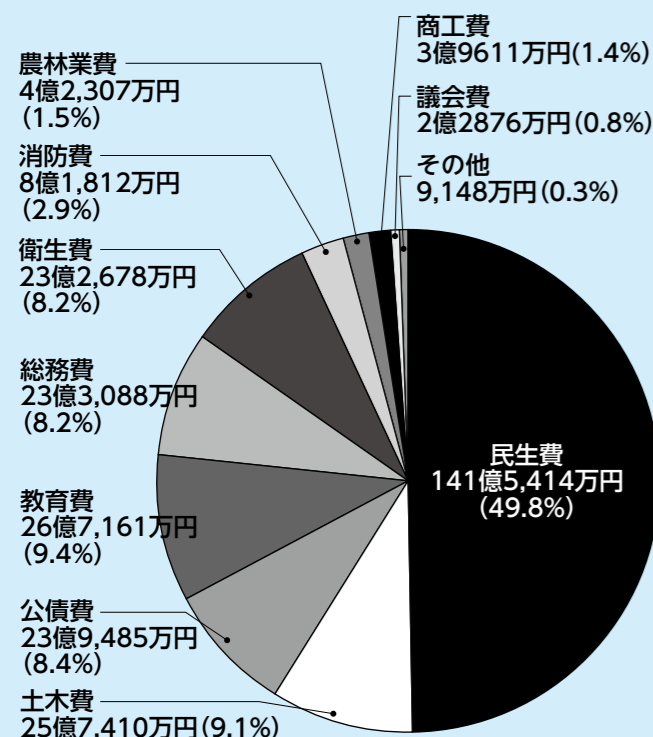
- 行財政運営(2.9億円)
  - 期待と信頼に応え市民と共に歩む「こわやか」なまちづくり
  - 市民活動活性化推進事業

# 平成29年度 田川市の最終予算

## 一般会計 284億990万円

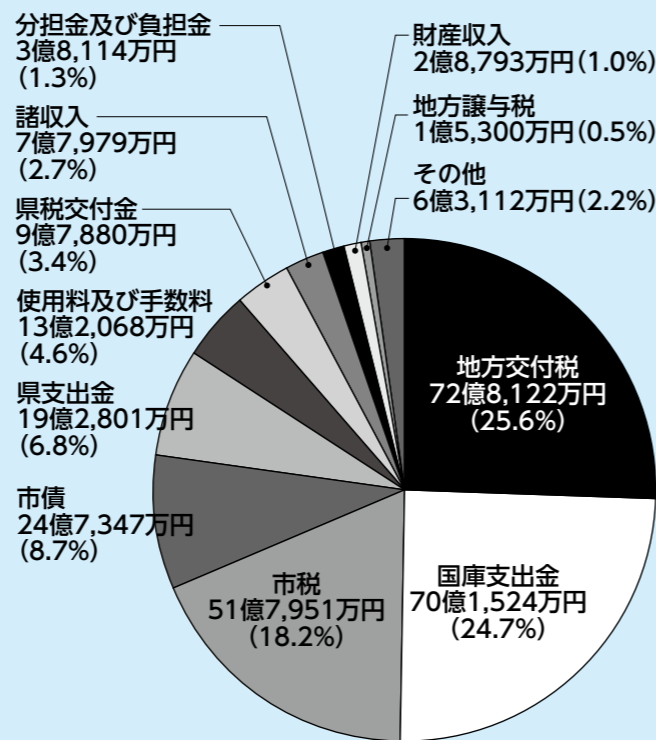
予算は、当初に内容を決めた後、状況の変化に応じて補正します。今回は、最終補正後の予算額を報告します。

### 歳出 284億 990万円



※その他…労働費、災害復旧費、諸支出金、予備費の合計

### 歳入 284億 990万円



※県税交付金…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金の合計  
 ※その他…地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、寄附金、繰入金、繰越金の合計

### 特別会計の状況

会計名	最終予算額
国民健康保険特別会計	70億4,346万円
後期高齢者医療特別会計	6億9,107万円
急患医療特別会計	1億8,447万円
住宅新築資金等貸付特別会計	2,811万円
田川市等三線沿線地域交通体系整備事業基金特別会計	1億7,408万円

### 公営企業会計の状況

区分	病院事業会計	水道事業会計
収益的収入	59億4,699万円	11億7,239万円
収益的支出	60億5,763万円	10億 972万円
差し引き	△ 1億1,063万円	1億6,267万円
資本的収入	7億4,467万円	2億 316万円
資本的支出	9億8,303万円	4億7,454万円
差し引き	△ 2億3,837万円	△ 2億7,138万円

※6～9ページの数値は端数処理をしておりますので、合計が一致しないことがあります。詳細は市ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

## 特別会計

次に、一般会計とは分けて経理する特別会計について説明します。本市には、5つの特別会計があり、それぞれの事業の概要と予算額は次のとおりです。

### 国民健康保険

[53億8,128万円]

本市の国民健康保険の加入者に対して、病院などにかかったときの医療費を給付するほか、病気を早期に発見するための健診、病気の予防や健康増進のための事業を実施しています。

### 後期高齢者医療

[7億1,417万円]

後期高齢者医療とは、75歳以上の人（一定の障害がある65歳以上の人を含む）が加入する医療保険のことです。高齢者の医療費を安定的に確保するために国民全体で支える制度です。

### 急患医療

[1億5,792万円]

田川地区の救急患者に急患診療を行う「田川地区急患センター」を設置しています。診療によって生じる診療報酬や田川市郡8市町村からの負担金が運営の財源です。

### 住宅新築資金等貸付

[1,563万円]

生活環境の向上が必要な地域の改善を目的に、住宅新築に必要な資金などを貸し付ける事業です。現在は、新規の貸し付けは実施しておらず、過去に貸し付けた資金の回収事業を行っています。

### 田川市等三線沿線地域交通体系整備事業基金

[1億7,912万円]

平成筑豊鉄道の改修費用や運行費用に対して補助金を支出するための特別会計です。この会計から支出する補助金は、平成筑豊鉄道が運行しているすべての市町村で負担しており、これを本市が取りまとめて支出しています。

## 公営企業会計

最後に、一般的な会社と同じように利用者からの料金収入で事業を行っている公営企業会計について説明します。本市には、2つの公営企業会計があり、それぞれの予算額は次のとおりです。

※公営企業会計は「収益的収支」と「資本的収支」の2つから成り立っています。

- 収益的収支** みなさんの家庭などに水道水を供給したり病院で診療を行ったりする、経営活動に伴うすべての「収入」と「費用」を経理する収支です。
- 資本的収支** 施設などの整備や長期間使用する機器の購入など、支出の効果が将来に及ぶもののほか、借金の返済など、これらの支出とその財源となる収入を表す収支です。

### 病院

●収益的収支		単位:千円
収入	医療収益	4,818,501
	医療外収益	600,786
	特別利益	214,647
	収入合計	5,633,934
支出	医療費用	5,809,269
	医療外費用	99,518
	特別損失	3
	予備費	10,000
支出合計	5,918,790	
●資本的収支		単位:千円
収入	企業債	250,000
	補助金・負担金	430,140
	収入合計	680,140
支出	建設改良費	250,000
	企業債償還金	673,510
	支出合計	923,510

入院・外来収益、手数料収入など  
 一般会計繰入金、施設使用料収入など  
 長期前受金戻入の一部  
 人件費、薬品・診療材料費、維持管理経費など  
 借入金の支払利息、消費税など  
 施設などの改修、医療機器の購入にかかる借入金  
 借入金の元金返済分に對する一般会計繰入金など  
 施設などの改修、医療機器の購入費用  
 借入金元金返済費用

### 水道

●収益的収支		単位:千円
収入	営業収益	1,076,241
	営業外収益	99,303
	収入合計	1,175,544
支出	営業費用	1,058,397
	営業外費用	48,640
	予備費	5,000
支出合計	1,112,037	
●資本的収支		単位:千円
収入	企業債	80,000
	加入金	10,800
	補助金・負担金	2
	有価証券売却代金	99,874
収入合計	190,676	
支出	建設改良費	384,255
	企業債償還金	114,386
	投資	110,000
	予備費	5,000
支出合計	613,641	

水道料金収益、手数料収入など  
 長期前受金戻入、預金利息など  
 浄水・給水にかかる費用、減価償却費など  
 消費税、支払利息など  
 老朽施設更新にかかる借入れ  
 新規給水施設設置時などの加入金  
 老朽施設更新などの費用  
 借入金元金返済  
 水道事業資金の運用など